

## 編集後記

第76巻第6号をお届け致します。今回は、前川喜平先生の提言「触れ合い子育ての実践」に始まり、奇しくも研究論文7編中には「触れ合い子育て」の重要性を啓発する内容が多くみられました。前川先生は短い文章の中に、エリクソンの言う「基本的信頼感」や母子相互作用、愛着アタッチメント、肯定的妊娠や周囲の支援について、大変わかりやすく述べておられます。総説では、玉井浩先生に「母体血胎児染色体検査(NIPT)」という胎児診断が、社会にもたらした影響について解説いただき、視点としては、奥村彰久先生に「早産児の核黄疸」について、包括的診療ガイドラインの作成に取り組まれている立場から、診断と予防について解説いただきました。

また本号には、今年の6月に大阪府で開催された第64

回学術集会での会頭講演、会長講演、特別講演、教育講演、シンポジウム等が掲載されています。すべてを聴くことができなかった方や、ご都合により欠席された会員の皆様のために、また、内容を再確認したい会員のためにも役立つことと思います。

今年もあっという間に残りわずかとなりました。今年度は論文として、32編の「研究」と22編の「報告」、2編の「症例報告」が掲載されましたが、内容は乳幼児から思春期の子ども、そして親や保育者を対象に健康の観点から科学的に検討されたもので、いずれも「小児保健研究」として意義ある重要な論文となっています。査読もかなり迅速に行われるようになっておりますので、次年度も多くの分野からの投稿をお待ちしております。

(小林正子)

### 編集業務に関するお知らせ

「小児保健研究」等の原稿の投稿や編集に関するお問い合わせは下記にお願いします。

〒160-8306 東京都新宿区西新宿5丁目25番11号 (株)日本小児医事出版社内 「小児保健研究」編集部

TEL: 03-5388-6008 (小児保健研究専用) FAX: 03-5388-5193 E-mail: shounihoken@viola.ocn.ne.jp

|                                                                                                                                                       |                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 公益社団法人日本小児保健協会 日本小児保健協会ホームページアドレス <a href="http://www.jschild.or.jp/">http://www.jschild.or.jp/</a><br>E-mail: jsch-soc@umin.ac.jp<br>小児保健研究 第76巻 第6号 |                                                               |
| 発行所 公益社団法人日本小児保健協会<br>〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-5<br>水道橋外堀通ビル9階<br>TEL: 03(3868)3093 FAX: 03(3868)3092                                                    | 平成29年11月30日 発行<br>発行人 秋山千枝子<br>編集代表 徳村光昭<br>編集業務 (株)日本小児医事出版社 |